

ねお省り屬々十あるに五個てす少し事
右を通事はすのりおさるるに
向ふておのりてすてす

○安政三年十二月の御覽を致し渡
かえり書付し案の内御覽

付出し多大勢を御用ひり奉り四所以上を
將來に御覧連りてす中より大なるに御覧省
てす御覧

たつとてす御覧

三十一

○安政三年十二月の御覽を致し渡

今御覧に御覧を御覧相續り御覧に御覧
又今御覧に御覧を御覧御覧に御覧

公家におのりて今御覧に御覧に御覧
統下は御覧に御覧に御覧に御覧

この御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

御覧に御覧に御覧に御覧に御覧

新祝出中と表と石成山右に執多改一と云ふ
右に通山神和傾寺社傾右石成山と云ふ
右に編ては和編

二月

○別号

遠産但馬友の海産の目録示り人知るべき事
書付

古令浪門初産出方と先年分産、和約是迄増出
山手高直し追々川河産出の事ありし事ありし事
去るに命ありし事未川智談ありし事以渡川智
産出の事とて道法遠産と右約稿之と傳り割合

左と通

- 慶長金令百支、代り、令武百七支
- 武判、同り、代り、令同り
- 元原令同り、代り、令百四拾支
- 乾字令同り、代り、令百八支
- 享保令同り、代り、令武百拾支
- 元文令同り、代り、令百武支
- 文政令同り、代り、令百四支
- 嘉字 武判、同り、代り、令同り
- 元文判、同り、代り、令同り
- 元文浪給、同り、代り、浪給支、百九拾支
- 文政浪、同り、代り、浪給支、百九拾支